

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

I. 事業の概要

平成 30 年度は下記のように、研究助成、褒賞、国際交流事業及び普及事業を実施した。

1. 研究活動に対する助成

平成 30 年 7 月、募集要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、研究助成候補者を公募。

締切日(平成 30 年 10 月 12 日)までに 87 件の応募があり選考の結果

下記 11 件の助成を決定。 合計=1,000 万円

石橋 賢士 (東京都健康長寿医療センター医師研究員) 助成額=80 万円
「脳卒中における錐体路ワーラー変性画像」

大久保 洋平 (東京大学大学院医学系研究科講師) 助成額=90 万円
「オルガネラ Ca²⁺の前シナプス制御機構」

岡本 麻友美 (名古屋大学大学院医学系研究科特任助教) 助成額=100 万円
「力が制御する神経前駆細胞の動態・運命」

佐々木 拓哉 (東京大学大学院薬学系研究科助教) 助成額=100 万円
「海馬神経同期発火のリアルタイム制御」

田中 雅史 (東北大学大学院生命科学研究科助教) 助成額=90 万円
「模倣を制御する神経メカニズム」

田村 啓太 (Ecole Polytechnique Federale de Lausanne Scientist) 助成額=100 万円
「柔軟な行動を支える、脳回路の機能的組換え」

チェン・チー・ヤン (京都大学大学院医学研究科研究員) 助成額=80 万円
「霊長類中枢神経系における恐怖の処理機構」

原 英之 (徳島大学先端酵素学研究所助教) 助成額=80 万円
「ウイルス感染を用いたプリオン病モデル構築」

松田 恵子 (慶應義塾大学医学部専任講師) 助成額=80 万円
「グルタミン酸受容体によるシナプス形成機構」

丸山 健太 (大阪大学世界最先端研究機構特任助教) 助成額=100 万円
「侵害受容性中枢保護理論の提唱と応用」

三木 崇史 (同志社大学研究開発推進機構(脳科学研究科)助教) 助成額=100 万円
「シナプス小胞高速動員メカニズムの解明」

2. 研究に対する褒賞

平成 30 年 7 月、推薦要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、塚原仲晃記念賞受賞候補者の推薦を公募。

締切日（平成 30 年 10 月 12 日）までに、22 件の推薦があり、選考の結果下記 1 件の授賞を決定。褒賞額=100 万円

トーマス・マックヒュー（理化学研究所脳神経科学研究センターチームリーダー）
「海馬記憶の神経回路と生理機能に関する研究」

3. 国際交流助成

(1) 海外派遣研究助成

平成 30 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外派遣研究助成候補者を公募。

締切日（平成 31 年 1 月 11 日）までに、7 件の応募があり、選考の結果本年度は 該当なし と決定。

(2) 海外研究者招聘助成

平成 30 年 7 月、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外研究者招聘助成候補者を公募。

締切日（平成 31 年 1 月 11 日）までに、12 件の応募があり、選考の結果下記 7 件の助成を決定。合計=200 万円

申込者：岡本仁（理化学研究所 CBS シニア・チームリーダー/大会長）助成額=30 万円
カール・ジョン・フリストン氏（ロンドン大学教授）を
NEURO2019 でのプレナリーレクチャーのため招聘。

テーマ「Active inference, decisions and curiosity」

申込者：杉浦元亮（東北大学加齢医学研究所教授）助成額=20 万円
アダム・テイラー・ティエリ氏（ロンドン大学上級講師）を
NEURO2019 シンポジウムでの講演

及び東北大学での講演と共同研究打合せのため招聘。

テーマ「音楽スキルと言語獲得能力の関係について」

申込者：青木淳賢（東北大学大学院薬学研究科教授）助成額=30 万円
富田進氏（イェール大学教授）を
第 92 回日本生化学会大会シンポジウムでの講演のため招聘。

テーマ「神経科学を支えるチャネルの生化学」

申込者：野崎大地（東京大学大学院教育学研究科教授）助成額=30 万円
ユリア・サンダミルスカヤ氏（チューリッヒ大学/チューリッヒ工科大学グループリーダー）を
Neural Control of Movement サテライト会議での講演のため招聘。

テーマ「Neuronal attractor dynamics:

coupling perception, movement generation, and learning.]

- 申込者：山本雅貴^{やまもとまさき}（理化学研究所放射光科学研究センター部門長）助成額＝30万円
Michael P. Rout 氏（ロックフェラー大学教授）を
第19回日本蛋白質科学会年会・第71回日本細胞生物学会大会合同年次大会での
プレナリーレクチャー及び放射光科学研究センターでの講演のため招聘。
テーマ「核膜孔の構造・機能相関の新たな提案」
- 申込者：楠進^{くすのきすすむ}（近畿大学医学部教授／大会長）助成額＝30万円
デイビッド・R・コーンブラス氏（ジョンズ・ホプキンス大学教授）を
第60回日本神経学会学術大会での講演のため招聘。
テーマ「Neurophysiology (GBS update)」
- 申込者：奥谷文乃^{おくたにふみの}（高知大学医学部教授／大会長）助成額＝30万円
チャールズ・オーガスト・グリアー（イエール大学教授）を
日本味と匂学会第53回大会での招待講演のため招聘。
テーマ「嗅覚研究の歴史と展望―若い研究者に向けて」

4. 普及啓発事業

(1) 講演会等の開催

①「塚原仲晃記念賞」受賞記念講演会

平成30年7月26日（木）午後5時00分から午後6時00分
神戸国際会議場メインホール、第32回（平成29年度受賞者）
塚原仲晃記念賞受賞記念講演会を開催。対象は脳科学関係の研究者。
参加者約500名。入場無料。

②「脳の世紀」シンポジウム

平成30年9月12日（水）午前10時10分より有楽町朝日ホールにて「脳の世紀」
シンポジウムをNPO法人脳の世紀推進会議と共同開催。

特別講演 及び 脳を知る・脳を守る・脳を創る・脳を育むの各テーマについて講演。
対象は一般市民。参加者約700名。入場無料。

特別講演：「脳と小説と人工知能～脳が面白い小説とは何であるか？～」

瀬名 秀明（作家）

脳を知る：「人工知能は脳から何を学べるか」

銅谷 賢治（沖縄科学技術大学院大学教授）

脳を守る：「脳からみたうつ病の理解と治療」

岡本 泰昌（広島大学精神神経医科学教授）

脳を創る：「脳を読み解く：情報・イメージ・言葉」

西本 伸志（情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター主任研究員）

脳を育む：「脳を創る神経幹細胞」

後藤 由季子（東京大学大学院薬学系研究科教授）

③「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」をNPO法人脳の世紀推進会議と共同開催。

平成 30 年度は春から秋にかけて全国の下記 13 会場にて開催し、公開講演、討論、病院や研究所の公開、学校訪問などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職員と一般市民。参加費無料。

新潟大学脳研究所、群馬大学医学部基礎大講堂、名古屋市立向陽高等学校、京都市立堀川高等学校、国立精神・神経医療研究センター、岡崎げんき館、東北大学片平さくらホール、理化学研究所大河内記念ホール、広島大学医学部第 5 講義室、北海道大学医歯学総合研究棟組織学・病理学実習室、大阪大学大学院生命機能研究科生命システム棟 2F セミナー室、東京学芸大学附属高等学校、奈良女子大附属中等挙育学校多目的ホール

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993 年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は 2000 年から参加。

(2) 広報活動

研究報告集：第 31 回塚原仲晃記念賞受賞者及び第 31 回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー2019」として編集。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1) 理事及び監事

平成 31 年 3 月 31 日現在の理事・監事は別紙に記載のとおり。

(2) 理事会

平成 30 年度第 1 回理事会（平成 30 年 5 月 16 日開催）

決議事項

- ①平成 29 年度事業報告
- ②平成 29 年度収支決算報告

報告事項

- ①平成 29 年度会計監査執行の報告
- ②代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

平成 30 年度第 1 回臨時理事会（平成 30 年 6 月 1 日書面決議）

決議事項

- ①代表理事の選定
- ②常務理事の選定

平成 30 年度第 2 回理事会（平成 31 年 2 月 18 日開催）

決議事項

- ①第 33 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 32 回国際交流助成の選考
- ②平成 31 年度事業計画
- ③平成 31 年度収支予算

報告事項

- ①代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

平成 31 年 3 月 31 日現在の評議員は別紙に記載のとおり。

(2) 評議員会

平成 30 年度定時評議員会（平成 30 年 6 月 1 日開催）

報告事項

- ①平成 29 年度事業報告
②平成 29 年度会計監査執行の報告

決議事項

- ①平成 29 年度収支決算報告
②理事・監事の選任
③評議員の選任
④評議員会議長の選任

平成 30 年度第 1 回臨時評議員会（平成 31 年 3 月 15 日開催）

承認事項

- ①第 33 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 32 回国際交流助成の選考
②平成 31 年度事業計画
③平成 31 年度収支予算

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

平成 31 年 3 月 31 日現在の選考委員は別紙に記載のとおり。

(2) 選考委員会

平成 30 年度選考委員会（平成 31 年 2 月 5 日開催）

協議事項

- ①第 33 回塚原仲晃記念賞受賞者の選考
②第 33 回研究助成受領者の選考
③第 32 回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

平成 31 年 3 月 31 日現在の顧問は別紙に記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 佐藤裕子

事務局員 小杉夏子

6. 登記に関する事項

平成 30 年 6 月 6 日：理事の変更登記（東京法務局提出）

平成 30 年 6 月 6 日：監事の変更登記（東京法務局提出）

平成 30 年 6 月 6 日：評議員の変更登記（東京法務局提出）

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は 6,300,000 円（企業 2 社より）

理事及び監事

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

理事長	廣川 信隆	東京大学大学院医学系研究科特任教授
常務理事	貴邑 富久子	横浜市立大学名誉教授
	板東 武彦	NPO 法人動物実験関係者連絡協議会理事長
理事	久保田 競	国際医学技術専門学校副校長
	永津 俊治	名古屋大学及び藤田医科大学医学部名誉教授
	御子柴 克彦	理化学研究所脳神経科学研究センターチームリーダー
	尾高 和浩	本田技研工業株式会社執行役員
監事	伊藤 醇	公認会計士
	鈴木 雅文	本田技研工業株式会社取締役監査等委員

評議員

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

議長	大塚 正徳	東京医科歯科大学名誉教授
評議員	鈴木 良次	金沢工業大学研究支援機構顧問
	津本 忠治	日本学術振興会ストックホルム研究連絡センター長
	外山 敬介	株式会社 ATR 脳情報研究所招聘研究員
	三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	水野 昇	京都大学名誉教授

選考委員

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

委員長	宮下 保司	理化学研究所脳神経科学研究センターセンター長
委員	伊佐 正	京都大学大学院医学研究科教授
	岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授
	尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科教授
	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科教授
	酒井 邦嘉	東京大学大学院総合文化研究科教授
	渡邊 大	京都大学大学院医学研究科教授

顧問

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム元会長
塚原 眞佐子	故塚原仲晃教授夫人